



「正負の数」(人数比15.1%)と「文字と式」(同25.1%)を除いて、それぞれの内容について4割を越える生徒がもっと勉強したいと答えている。また、各グループ間にそれほど大きな差は見られないが、成績が下位になるほど「正負の数」と「文字と式」とする回答の割合がやや増える(人数比)傾向が見られる。

